

重点施策点検・評価表

3-1-1

推進目標	
3	ふるさとへの誇りと未来をはぐくむ生涯学習の推進と支援
重点施策	
1	ふるさとキャリア教育の理念に基づく「知の循環型社会」の形成に努める
	担当課(館)
	① 達人講座の実施
	生涯学習課
活動内容	地域のサークル等の講師(達人)が、小中学生(親子含む)を対象にボランティアで講座を開設し、22講座を実施する。昨年度より1講座以上多いメニューを考え、実施する。
点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る (達成率100%超) <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり (95~100%) <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る (80~94%) <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (80%未満) 今年度は22講座を予定していたが、2講座(古典舞踊を踊ってみよう!・オカリナをふいてみよう)は応募者が無かったため中止し、20講座(昨年16講座)を実施した。 新たに4講座を実施した。 平成30年度19講座開設(うち、申し込み無し1件、休講2件) 申込者数404人 令和元年度22講座開設(うち、申し込み無し2件) 申込者数340人
課題等	昨年度と同様、前期・後期・通年の3パターンで募集し、より受講しやすい体制づくりを行った。 講座数は増えたが、児童数の減もあり各講座の申込者数は少しずつ減少した。
	取組の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
学識経験者等の意見	いい取り組みだと思う。継続していただきたい。
	② 人材リスト「おおだて人財名簿」の充実と活用
	生涯学習課
活動内容	高等教育機関(大学、短大)や学校ボランティア、公民館等から新規人材を発掘し、特技や知識を持つ市民を「人財」として募集・登録し、学校や公民館などさまざまな学習活動の場での活用を促す環境の整備を図る。昨年度刷新した名簿を市内各所(小中学校25校、社会教育施設等18か所)に配置し、市ホームページも更新する。
点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る (達成率100%超) <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり (95~100%) <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る (80~94%) <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (80%未満) 新規人財登録は1団体の増、活用は1件の申込みがあった。 令和元年度 登録50人 17団体 小中学校25校は、紙名簿を廃止し、庁内ネットワークのライブラリー活用とした。社会教育施設等18か所は、住民閲覧のため紙名簿とし、差し替え完了。市ホームページの更新も行った。
課題等	より広い周知をして登録件数増加や利活用の促進を図っていききたい。名簿の内容は、随時チェックしながら更新し、使いやすさを維持していく。
	取組の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
学識経験者等の意見	(人財名簿を充実させるためには、)自薦だけでは厳しいものがある。他薦による、周りからの情報も得るようにするといいい。各公民館からの情報も得ながら、名簿を充実させることができると思う。高齢による名簿からの削除でなく、蓄えていってほしい。

重点施策点検・評価表

3-1-2

推進目標	
3	ふるさとへの誇りと未来をはぐくむ生涯学習の推進と支援
重点施策	
1	ふるさとキャリア教育の理念に基づく「知の循環型社会」の形成に努める
	担当課(館)
	③ 「大館市出前講座」の充実と活用
	生涯学習課
活動内容	市民の自主的な学習活動を支援するため、市の制度や事業等について市職員が出向いて説明を行う「出前講座(58講座)」を実施する。 平成29年度48講座 平成30年度53講座 令和元年度58講座 より多くの団体に認知してもらうため、利用件数50件増を目指す。
点検評価	<input checked="" type="checkbox"/> 目標を上回る <input type="checkbox"/> 目標どおり <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (達成率100%超) (95~100%) (80~94%) (80%未満) 令和元年度は、238件14,779人が受講し、昨年度より66件の大幅な増加となった。利用者は574人の減だが、幅広い組織・団体に利用してもらえた。 救急講座に加え、防災に関する申込みが多く、件数の大幅増加の要因となった。
課題等	救急や防災講座、健康など、生活に密着したテーマの希望が多いことから、一層の周知をしていきたい。 取組の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
学識経験者等の意見	大文字まつりで、はちくんダンス(上級編)を市長・教育長が若い人達と一緒に、先頭に立って踊ってくれているのは、市民には受け入れられやすいと思う。新たな初級編は、高齢者にも障がいのある人にもできると思うので、継続して広げていただきたい。
	④ 公民館事業への青少年の参加促進
	中央公民館
活動内容	各公民館が、小・中・高校生を対象とした事業を学校休業日を利用して開催し、参加を促進する。既存の事業がマンネリにならないよう改善を加え、新規事業も企画・立案し、新規参加者が年々増えていくよう配慮する。今年度実績:わんぱくスクール全9回24人(前年度9回19人)、ラジオ体操開始大会17団体150人(19団体250人)、夏休み将棋教室60人(60人)、夏休み囲碁教室10人(8人)、ラジオ体操終了大会10団体80人(13団体100人)
点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (達成率100%超) (95~100%) (80~94%) (80%未満) 各公民館で、小中学生を対象とした事業を休日や夏・冬休みに実施した。「わんぱくスクール」や「キッズカレッジ」、「たしる学舎」などの通年事業では、複数館の合同学習も行った。単発では「将棋・囲碁教室」、「夏・冬まつり」、「新春書初め」などのほか、地区公民館では「星空観望会」、「算数・数学教室」、「サケの放流事業」「カヌー体験教室」など特色ある事業に取り組んだ。
課題等	青少年の参加を高めるために、小中学生が興味を持つようなイベントや活動を企画することが必要である。新たなメニューを取り入れたり、対象者の枠を拡げるなどの検討をしながら、参加者が増加するように配慮したい。 取組の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
学識経験者等の意見	ラジオ体操開始大会、終了大会の参加者数は減っているが、長年取り組んでいる事業であり、青少年の健康づくりや規則的な生活習慣を身に付けるためには最適な取り組みだと感じている。今後も頑張って継続していただきたい。

重点施策点検・評価表

3-2-1

推進目標	
3	ふるさとの誇りと未来をはぐくむ生涯学習の推進と支援
重点施策	
2	「未来大館市民」を育成するための社会的連携態勢を構築する
	担当課(館)
	① 学校支援活動事業の推進
	生涯学習課
活動内容	市内の全小中学校を対象として、学校で必要とする活動と地域住民の知識と経験をマッチングさせ、地域の方々のボランティア派遣や地域の教育力を学校教育へ活用するなど、地域ぐるみで子どもを育む環境整備を図るとともに、学校を核とした地域の活性化につながる活動を支援する。今年度事業計画の地域協力者数をのべ18,313人とする。
点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る (達成率100%超) <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり (95~100%) <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る (80~94%) <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (80%未満) ①地域学校協働活動推進員(通称:地域コーディネーター)の配置により、各校の特色ある授業・大館ふるさとキャリア教育「百花繚乱作戦」の支援、家庭科等の授業や学校行事における地域協力者の対応、児童・生徒による地域ボランティア活動などをコーディネート。 ②地域コーディネーターや地域協力者の活動に対して、学校の実情に合わせた学校支援者補償制度に加入。 ③地域コーディネーター等により、学校ホームページや学校報等により、児童生徒や地域協力者の活動状況を伝えることで地域協力者の意欲向上や新たな人材確保につながる。 今年度の地域協力者数18,140人(計画18,313人)
課題等	国県補助事業を活用した地域学校協働活動推進員(通称:地域コーディネーター)の配置は、地域の活性化や地域全体で子どもを育てる仕組みづくりの一つとして定着している。今後も可能な限り補助事業を活用することで継続していくが、活用できない場合でも市単独事業として継続に努めたい。
学識経験者等の意見	評価のための数値目標が明記されていると、評価がしやすい。評価しやすくするためにも数値目標の設定は必要だと思う。その点で生涯学習課はよく取り組んでいる。
	取組の方向性
	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
	② 家庭教育の充実
	生涯学習課
活動内容	家庭教育推進事業の一環として、市内幼稚園・保育園・小中学校を対象に「子育て講座(40講座)」を開催する。また、「おしゃべり広場ひだまり(12回)」は子育てサポーターと連携し、子育て中の親を対象に育児の悩みや不安の解消を図る。担当者スキルアップ研修には80人の参加を目指す。
点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る (達成率100%超) <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり (95~100%) <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る (80~94%) <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (80%未満) 今年度の「おしゃべりひろばひだまり」は前期・後期を通して11回開催。「子育て・孫育て」をテーマとした講話の開催のほか、ものづくり体験、エクササイズなどを行い、幼児から高齢者まで幅広い年齢層の方々、約240名の参加があった。 「子育て講座」は、40団体からの申請があり、39団体が実施しており、約1,966名の参加。 平成29年度より行われている「家庭教育支援チーム推進事業」では、生涯学習フェスティバル・本場大館きりたんぽまつりにおいて、もの作り体験や木育ひろばを開催。各々約2,630名、約1,060名の参加があった。また、市内の小中学校を対象とした家庭教育支援活動では、適応指導「おとり教室」や東中学校において、木育学習を行った。 家庭教育支援関係者等を対象とした「担当者スキルアップ研修会」は、NPO法人孫育て・ニッポンの理事長を務める棒田明子氏を講師に招き、子どもの成長についてのななめの存在(地域の存在)の大切さなどを学び、79名の参加があった。 今年度の新たな取り組みとして、子育てに関する世代間の相違解消などを目的とした、「孫育て講座」を助産院イスキアの菅原光子氏を講師に招き、地区公民館3会場で開催した。3会場を合わせて約40名の参加があった。
課題等	「おしゃべりひろばひだまり」の参加者数を思うように伸ばすことが出来なかったため、開催日や内容の見直しを行い気軽に参加できるよう改善を図っていききたい。また、チラシ・ポスターのデザインの見直しやSNSを活用するなど広く市民に周知して参加者増につなげたい。子育て親子が集まる場所へのチラシの配布等、関係各所への協力も図っていききたい。(例:乳幼児健診など)
学識経験者等の意見	報告どおりで大変結構である。現代は主な家族構成が核家族になっており、若い親が子育てに悩むことが多い。本(マニュアル)のとおりに行かないとパニックになったりすることが多くなっている。その意味では以前からの母親学級などに合わせて、この「孫育て(講座)」は非常にいい取り組みである。(祖父母に限らず)お年寄りも昔からの知恵(生きる術)を上手に教えることができると思う。人間が生きていくにはいい意味でのアバウトな部分が必要であり、人生には様々なことがあるから、幅を持った考えでの子育てがいいのではないかと考える。教科書どおりにはいかないのが人間の育て方ではないかと思うので、ぜひ継続していただきたい。
	取組の方向性
	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度

重点施策点検・評価表

3-2-2

推進目標	
3	ふるさとの誇りと未来をはぐくむ生涯学習の推進と支援
重点施策	
2	「未来大館市民」を育成するための社会的連携態勢を構築する
	担当課(館)
	③ 音楽療法士派遣事業
	生涯学習課
活動内容	継続事業として、市内幼稚園・保育園・小中学校からの派遣依頼を受け、自閉症気味な子や発達が気になる子、特別支援学級在籍児童生徒に対し音楽療法を実施し、情緒の安定を図る。 事業計画で年間24回の開催を予定。
点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (達成率100%超) (95~100%) (80~94%) (80%未満) 派遣要請のあった市内の小中学校の特別支援学級や、保育園の気になる子を含めた保育園児を対象に全16回の派遣を実施した。(小学校12回、中学校2回、保育園2回) 学校の先生と音楽療法士が協力して音楽療法活動を行い、児童生徒の精神的な安定と他人とのコミュニケーション能力の向上に努めることができた。
課題等	3月中に派遣が決定していた3件は休校のため中止。また、保育園等の5件分についても3月に予定していたが、新型コロナウイルスの集団発生を防止するために申請見送りとなった。よって実施とみなす。 なるべく多くの学校等に派遣できるよう、事業のPRに努めるとともに、音楽療法士の派遣時期が集中しないように調整・対応する。
	取組の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
学識経験者等の意見	新型コロナ感染対策で、年間目標回数に到達できなかったのは仕方がない。 音楽療法の療法士の経費が大変に掛かるものだが、以前に見学した経験からいうと音楽療法活動中、子どもたちに驚くほどの変化があり、大変すばらしい事業だと認識している。是非、継続していただきたい。
	④ 青少年健全育成活動の充実
	生涯学習課
活動内容	青少年健全育成推進方針を策定し、関係機関と連携を図りながらさまざまな活動を実施し、青少年健全育成に対する市民の意識高揚と青少年健全育成のための環境整備を図る。 「青少年を非行から守る市民のつどい」への参加者動員目標を260人とする。
点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (達成率100%超) (95~100%) (80~94%) (80%未満) 学校及び青少年関連団体・機関等による青少年問題協議会を開催し、青少年健全育成推進方針の策定や情報共有・事業連携を図った。 7月6日(土)中央公民館を会場に「青少年を非行から守る市民のつどい」を開催し、青少年を非行や犯罪から守り、心身共に健やかに成長できる明るい社会づくり運動に努めた。 ・参集者267人 ・大館曲げわっぱ太鼓公演、内閣総理大臣メッセージ伝達、防犯文集朗読発表
課題等	年度当初に関係団体を対象としたアンケートを実施し、その結果、参加者の高齢化やスクールバンド校の減少等により、今年度から桂城公園での集会や街頭パレードは行わずに屋内開催とした。次年度以降も引き続き屋内開催を予定する。
	取組の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
学識経験者等の意見	青少年健全育成はやらないとならない活動であるが、参加者の高齢化等の理由により、パレードをやめても集まっていたら、実績が出たのなら、R元年度と同じスタイルで継続していただきたい。

重点施策点検・評価表

3-2-3

推進目標						
3	ふるさとの誇りと未来をはぐくむ生涯学習の推進と支援					
重点施策						
2	「未来大館市民」を育成するための社会的連携態勢を構築する	担当課(館)				
	⑤ 少年相談センターの活動の充実	生涯学習課				
	活動内容	青少年が抱える悩みや問題を解決するための相談活動や指導員による巡回活動のほか、関係機関・団体・学校等と連携したさまざまな活動を行うことにより、青少年の健全育成を図る。				
	点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (達成率100%超) (95~100%) (80~94%) (80%未満) 青少年や保護者が抱える様々な問題に対応できるよう、電話や面接による相談活動を実施するとともに、市内小中学校や、おおとり教室・子ども課等の青少年関連機関との連携を図りながら、問題解決に努めている。また、少年指導員28名により、市内全コンビニ店への子どもの見守り依頼や、街頭パトロール、生徒指導主事協議会との合同巡視など、延べ200回の活動を通して青少年の健全育成に努めた。				
	課題等	年々、相談件数が増加傾向にあり、昨年度には年間200件を超える相談件数となったことから、今年度の4月から相談センター業務を所長と相談専門員による二人体制でスタートした。 <table border="1" style="float: right;"> <tr> <td>取組の方向性</td> </tr> <tr> <td><input checked="" type="checkbox"/> 継続</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 廃止検討</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 単年度</td> </tr> </table>	取組の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 廃止検討	<input type="checkbox"/> 単年度
	取組の方向性					
	<input checked="" type="checkbox"/> 継続					
	<input type="checkbox"/> 廃止検討					
	<input type="checkbox"/> 単年度					
	学識経験者等の意見	視点を変わると、相談件数が減少するという事は、平安になってきているとみることができる。反対に相談件数の増加は、悩みを抱えた方々が多くなっていると考えられる。体制が2人になったことで、その経歴からの経験も豊富な方々なので、どんな相談にも対応していけると思う。人材としてこれ以上のコンビはないと考えるので、引き続き継続して欲しい。				
⑥ 関係機関への支援	生涯学習課					
活動内容	青少年育成大館市民会議、大館市子ども会育成連合会、大館地区少年保護育成委員会など、青少年健全育成関係団体に活動費の補助や活動支援を行うことにより、地域の青少年健全育成活動の充実を図る。 市補助金：青少年育成大館市民会議 163千円 大館市子ども会育成連合会 255千円 大館地区少年保護育成委員会 124千円					
点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (達成率100%超) (95~100%) (80~94%) (80%未満) 青少年健全育成活動や社会教育活動に関わる上記団体に対して活動費の補助を行ったほか、青少年育成大館市民会議の総会をはじめ、同団体が主催する「青少年育成推進事業2019シンポジウム」の開催補助など、各活動・事務面において支援している。					
課題等	会員の高齢化が進み、これまでと同様の活動が難しくなっている団体もある。 今後も各団体との連絡・連携を密にし、活動費補助のほか、それぞれの活動及び事務面での行政支援に努める。 <table border="1" style="float: right;"> <tr> <td>取組の方向性</td> </tr> <tr> <td><input checked="" type="checkbox"/> 継続</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 廃止検討</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 単年度</td> </tr> </table>	取組の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 廃止検討	<input type="checkbox"/> 単年度	
取組の方向性						
<input checked="" type="checkbox"/> 継続						
<input type="checkbox"/> 廃止検討						
<input type="checkbox"/> 単年度						
学識経験者等の意見	子ども会育成連合会の活動で、予算内で積極的に指導してくれる方がいるのであれば、支援をお願いしたい。そうすることで、子ども会組織が廃れていくのを諦めるのではなく、やってくれる方がいるのであれば、行政で支援することで活発化していく可能性があるため、支援をお願いしたい。					

重点施策点検・評価表

3-2-4

推進目標			
3	ふるさとの誇りと未来をはぐくむ生涯学習の推進と支援		
重点施策			
2	「未来大館市民」を育成するための社会的連携態勢を構築する		担当課(館)
	⑦ 社会教育委員の活動の充実		生涯学習課
	活動内容	生涯学習推進計画や社会教育推進計画等、社会教育推進のための基本方針や重点施策を策定し、教育委員会点検・評価に対する必要な意見・提言を行い、社会教育活動の推進を図る。 委員に対し学校訪問や研修会等への参加を呼びかけ、約8回の開催に対し約40人以上を目指す。	
	点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る (達成率100%超) <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり (95~100%) <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る (80~94%) <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (80%未満) 北教育事務所主催の学校訪問や教育委員との合同学校訪問、教職員実践発表会への参加を通じ、各校が取り組むふるさとキャリア教育の実績・効果等を再確認した。各種会合等でふるさとキャリア教育を発信するなど社会教育委員活動、市民版ふるさとキャリア教育の推進につなげている。また、社会教育・生涯学習の重点施策や事務事業の点検・評価について協議し、必要な提言を行った。さらに、今年度は第7次社会教育中期計画策定の諮問を受け12~2月に会議を重ね3月に答申した。 令和元年度 訪問等のべ参加人数62人(12回)	
	課題等	ふるさとキャリア教育や学校と地域のつながりの中に社会教育委員として関わり、市民版ふるさとキャリア教育の推進に向け、見える活動を展開していきたい。 今後、策定した社会教育中期計画の実現に向け必要な助言を行う。	取組の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
	学識経験者等の意見	子どもは学校教育・家庭教育・社会教育(地域の教育)の三つが重なったところで育つものである。そういう意味からいくと、社会教育委員と教育委員とが一緒に学校訪問して子どもの在り様を見てくるのは非常によいこと。教育委員は先生方の指導の仕方などを、社会教育委員は玄関の様子(靴、花、整理整頓)や子どもの元気なあいさつなどをとるように、それぞれが役割分担を持ちながら、違った観点から見てきて評価するとよいのではないかと。子どもは学校だけでなく、家庭教育や社会教育も大事であるから、年に何度か行動を共にして勉強するのは大変にいいことなので、継続していただきたい。	
	⑧ 生涯学習推進体制の充実		生涯学習課
	活動内容	生涯学習に関する市民の意見・要望を反映させるため、関係相互団体と連携し、生涯学習推進協議会において協議するとともに、地域において学習活動を奨励するため、生涯学習奨励員の自己研鑽と活動の充実を図り、社会教育主事を養成しながらその組織化を目指す。 社会教育主事 1人発令増を予定。	
	点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る (達成率100%超) <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり (95~100%) <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る (80~94%) <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (80%未満) 生涯学習推進協議会については、7月に幹事会(書面協議)、8月30日に協議会を開催。令和元年度生涯学習推進計画、社会教育推進計画を案件とし、各委員からさまざまな意見等が出され、これを第7次社会教育中期計画にも反映させることとした。 また、生涯学習奨励員については、地元イベントへの積極的な参加、協力等の個人活動の他、総会及び自主研修会の開催、生涯学習フェスティバルへの参加及び協力、被災地支援・交流事業への参加、県及び北鹿地区の総会、研修会への参加などの活動を行った。 講習受講した長木公民館職員を社会教育主事として発令した。	
	課題等	今後、情報プラットフォームを検討するうえで、全庁を巻き込むための組織として幹事会等の役割が重要になる。 生涯学習奨励員について、会議・研修会等への参加者に偏りが見受けられるため、より多くの奨励員が参加できるよう日程等について配慮を要する。	取組の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
学識経験者等の意見	継続していただきたい。		

重点施策点検・評価表

3-2-5

推進目標	
3	ふるさとの誇りと未来をはぐくむ生涯学習の推進と支援
重点施策	
2	「未来大館市民」を育成するための社会的連携態勢を構築する
	担当課(館)
	⑨ 高齢化社会に対応した生涯学習の充実
	中央公民館
活動内容	公民館サークル活動等の学習成果を生かす場の拡充や、高齢者の豊かな体験・知識・技術・特技を生かす場を充実させるため、子どもとの世代間交流も行う。 今年度実績:老壮大学 全9回 139人(前年度 全9回 139人)中央公民館 全地区公民館(11館)でも高齢者学級を実施 新春書初め交流会34人(同38人)中央公民館 " 32人(同30人)比内公民館
点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (達成率100%超) (95~100%) (80~94%) (80%未満) 中央公民館をはじめ各地区公民館で高齢者学級の育成・強化に力を入れ、公民館祭や地区文化祭などで、活動の成果を発表する場を設けている。中央公民館の書初め交流会では、老壮大学の書道クラブが小学生の指導にあっている。また、各地区公民館の主催事業でも高齢者の団体やサークルが活躍する機会が多く、夏まつりや冬まつりでは子どもと父母、祖父母の3世代が参加して世代間交流事業を行っている。
課題等	超高齢化社会に向かって、益々高齢者が増加する現状とは対照的に、高齢者事業の参加者は毎年減少していたが、今年度の老壮大学入学者は横ばいとなった。特に近年は60歳を過ぎても就労している方が多く、今後は従来の高齢者事業とは別に、中高年勤労者を対象とした新規事業を模索する時期に来ていると感じる。
	取組の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
学識経験者等の意見	少子・高齢社会を迎えている今日、高齢者の健康寿命の向上や生き生きとした生活を過ごしていただくため魅力ある講座を提供していただきたい。高齢者が参加しやすいように、学習と交流のバランスを考えながら実施してほしい。
活動内容	
点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input type="checkbox"/> 目標どおり <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (達成率100%超) (95~100%) (80~94%) (80%未満)
課題等	
	取組の方向性 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
学識経験者等の意見	

重点施策点検・評価表

3-3

推進目標	
3	ふるさとの誇りと未来をはぐくむ生涯学習の推進と支援
重点施策	
3	高校生や大学生による「街づくり活動」等を支援する
	担当課(館)
	① 高校生・青年層対象の生涯学習ボランティア養成講座の実施
	中央公民館
活動内容	高校生や若い世代に公民館活動の紹介と生涯学習ボランティア活動を体験してもらい、公民館の積極的な活用を促進する。「高校生まちづくり会議HACHI」の活動を継続して実施するとともに、昨年は活動事例を紹介したり、他団体とのコラボした事業も行われたので、今後も取り組んでいきたい。また、地元の大学ともタイアップした事業を大学側のスケジュールを見ながら進めていく。 今年度実績:活動回数 延べ17回 150人(前年度 22回 207人)
点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input type="checkbox"/> 目標どおり <input checked="" type="checkbox"/> 目標をやや下回る <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (達成率100%超) (95~100%) (80~94%) (80%未満) 「HACHI」では7人の新メンバーが加入、参加校も3校に増えた。今年度は2年連続で「肉博」や「子育てキラキラフェスタ」などのイベントに参加したほか、「おおだて巡り」や「ハチウイン」では自ら企画立案し、話し合いを重ねて準備をし、成功に結び付けた。また、まちづくりワークショップ事業は昨年度で終了したが、引き続き社会福祉事業団や都市計画課職員を講師に「まちづくり活動」について3回にわたり意見交換した。今年度で5回目となるハチウインでは134人(前年度 88人)が参加し、「HACHI」のイベントとして定着している。
課題等	「HACHI」は新規メンバーの参加により20人となったが、主体の3年生が卒業し、現在は2校の13人となった。来年度以降の活動に支障が無いかわり懸念される。 また、大学との連携は、行事スタッフのボランティア派遣をお願いしながら、地域の事業への参加を呼び掛けていく。
学識経験者等の意見	「高校生まちづくり会議HACHI」の活動を充実させるため、高校を卒業した元メンバーと接点をもった活動について検討していただきたい。また、地元の大学との連携については引き続き、頑張ってもらいたい。
	取組の方向性
	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
活動内容	
点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input type="checkbox"/> 目標どおり <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (達成率100%超) (95~100%) (80~94%) (80%未満)
課題等	
	取組の方向性
	<input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
学識経験者等の意見	

重点施策点検・評価表

3-4-1

推進目標			
3	ふるさとの誇りと未来をはぐくむ生涯学習の推進と支援		
重点施策			
4	「ふるさと学習」の機会を積極的に提供し、地域を誇れる素地を醸成する		担当課(館)
	① 「生涯学習フェスティバル」の実施		生涯学習課
	活動内容	社会教育施設・各種機関・団体等に協賛・参加を呼びかけ、生涯学習に関する実践活動の発表の場や理解する機会を提供し、市民一人一人の生涯学習への意欲を高める。さらに、木育を中心とした事業を開催する。 メイン開催日の中央公民館会場では、今年初開催の木育キャラバンもあり来場者数2,500人を目標とする。	
	点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (達成率100%超) (95~100%) (80~94%) (80%未満)	
	課題等	9月・10月を生涯学習推進月間として、栗盛記念図書館や北地区コミュニティセンターなど、各機関・団体等による協賛イベントが開催された。(延べ参加・入場者数11,350人) 中央公民館会場では、9月21日(土)・22日(日)の2日間に渡り、中央公民館サークル協議会や大館桂桜高等学校、大館市発明協会等による各種展示や体験ブースを行った。また、木のおもちゃを集めた「木育キャラバン」の開催や林業・木工体験など、広く市民が生涯学習に触れながら、木と親しむ機会とした。(来館者数2,435人)	
	学識経験者等の意見	継続していただきたい。	
	取組の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度	
	点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (達成率100%超) (95~100%) (80~94%) (80%未満)	
	課題等	9月・10月は生涯学習フェスティバル協賛イベントのほか、敬老会やきりたんぼまつりなど各種イベント・行事が多い時期であり、ある程度の日程重複は避けられないものとして調整する。また、ほくしか鹿鳴ホール・中央公民館の駐車場は両会場のキャパシティに比べて非常に少ないため、来館者が集中しないよう事業内容等を検討する。	
	学識経験者等の意見	継続していただきたい。	
② 「大学公開講座」の実施		生涯学習課	
活動内容	市民の多様化・高度化した学習要望に応えるため、地域の高等教育機関と連携し公開講座を開催する。講座内容については、大学の特色を生かしたテーマを設定し、時事に即した内容の講義を行う。 実施校：秋田看護福祉大学(3回)、秋田職業能力開発短期大学校(3回)		
点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (達成率100%超) (95~100%) (80~94%) (80%未満)		
課題等	秋田看護福祉大学の協力のもと、第25回「大学公開講座」を7月2~4日の日程で開催し、1日1テーマとして、同大学の教授よりわかりやすく講義していただいた。今年度は、日常の介護や自分の老後に係る法律をテーマに取り上げたことから、介護職の方や日常家庭で介護していると思われる方の参加があり、受講者数は延べ199人と昨年度の257人と比較して減少したが、各回とも概ね受講者を確保することができた。 また、秋田職業能力開発短期大学校の協力のもと、第2回「大学校公開市民講座2019」を10月14日、同月23日、11月20日の3日間で開催したが、10月14日は、まちづくり課の事業とのコラボレーションという形であったため単独での開催は2日間であった。単独開催の2日間では、同大学教授による環境問題やデジタルアプリケーション※について講義していただき、受講者数は延べ27名であった。 ※デジタルアプリケーション：デジタルデータをもとに創造物を制作する技術のこと。機器としてはレーザーカッターや3Dプリンターなどがある。		
学識経験者等の意見	大学側には毎年テーマ設定や講師の選定で骨を折っていただいているが、第25回大学公開講座では受講者が減少した。そのため、大学側では、健康、医療、福祉、ボランティア等について市民のニーズに沿ったテーマを選定するために、過去のデータ(テーマと参加者数)を分析して第26回のテーマを選定すること。 秋田職業能力開発短期大学校「大学校公開講座」は、開催時期を第1回開催時より早めたが、大学行事の関係で年末近くになってしまった。第3回では、もう少し開催時期を早くしたい。		
取組の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度		

重点施策点検・評価表

3-4-2

推進目標			
3	ふるさとの誇りと未来をはぐくむ生涯学習の推進と支援		
重点施策			
4	「ふるさと学習」の機会を積極的に提供し、地域を誇れる素地を醸成する	担当課(館)	
	③ 地域活動団体への支援	生涯学習課	
	活動内容	大館市連合婦人会等、地域活動団体への補助・活動支援を行うことにより、地域活動の活性化を図る。 市補助金：大館市連合婦人会 248千円 Odate Marching Band TEDAOLE 200千円 おおだてロボット人材育成コンソーシアム 150千円 キッズテラス アット セイジュ(読書活動推進パートナー支援事業) 150千円	
	点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (達成率100%超) (95~100%) (80~94%) (80%未満) 市の予算の範囲内で申請のあったすべての団体に交付できた。 各団体とも会員の確保に努め、活動内容を工夫しながら、衰退しないように努力している。	
	課題等	市の予算の範囲内で補助金を交付し、情報交換しながら活動を支援し続けている。しかし、平成31年度(令和元年度)は前年度同額で交付したが、財政課より、令和2年度以降の市補助金については各団体の繰越額の有無や活動内容による判断を求められ、若干補助金額が減額される団体がある。 地域活動団体については、メンバーの高齢化等による会員減少が著しくなってきた団体もあり、若年層の団体加入による若返り化が課題となっている。	取組の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
	学識経験者等の意見	頑張って継続していただきたい。	
	④ 地区住民や関係団体との連携強化	中央公民館	
	活動内容	地域コミュニティ活動を支えるため、関係団体・関係機関と情報交換を行い、さまざまな角度から支援を行う。また、その活動の様子を関係団体等に紹介することで連携を強化する。特に東日本大震災以降は避難所としての機能の強化がより一層期待され、地区住民との連携強化が不可欠であるため、より良い協力関係を築いていく。	
	点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (達成率100%超) (95~100%) (80~94%) (80%未満) 地区公民館では、運動会やスポーツ大会、文化祭などの行事を、地元町内会や婦人会などと協力して行っているほか、他事業にも地域の団体の意見を反映させている。また、消防署や警察署、危機管理課の出前講座を活用した防災、防犯講座に地域ぐるみで取り組むなどして、関係機関とも連携を図っている。 今年度は、災害時を想定してのご飯の炊き出し体験(比内)や安心して暮らせる地域づくりの勉強会(上川沿)、中学生による地域活性化のアイデア発表会(十二所)などを実施した。中央公民館で出前講座活用した講座は5回(前年度:6回)を数えた。	
	課題等	公民館は、地域コミュニティの拠点であり、地域活動の支援はもちろんのこと、災害時の避難所として位置付けられている。少ない職員数で避難所として機能するためには、地域住民との連携は欠くことができない。 定期的に防災・避難訓練や災害を想定した事業を実施し、より良い協力関係を築くよう努力していきたい。	取組の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
学識経験者等の意見	災害時、公民館は地区の避難所として地域住民の安全確保の中心的役割が求められる。災害が起きた場合を想定した具体的な対策を町内会と話し合いながら準備を進めていくと同時に、市長部局とも十分に連携して取り組んでいただきたい。		

重点施策点検・評価表

3-4-3

推進目標			
3	ふるさとの誇りと未来をはぐくむ生涯学習の推進と支援		
重点施策			
4	「ふるさと学習」の機会を積極的に提供し、地域を誇れる素地を醸成する		担当課(館)
	⑤ 地域コミュニティづくりに向けた支援体制の強化		中央公民館
	活動内容	地域のコミュニティ活動の拠点として、地区公民館の改築は一巡した。今後は分館等整備の進んでいない施設への環境整備を進めていく。	
	点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る (達成率100%超) <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり (95~100%) <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る (80~94%) <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (80%未満)	
		地区公民館の改築は一巡したが、今後の維持管理で大規模修繕や改修が必要となる館もある。また、ほとんどの地区公民館分館は老朽化しており、必要不可欠な修繕で対応しているが、地元の意見・要望を聞きながら、計画的に整備を進めていきたい。 今年度は田代公民館授乳室の改修、早口一分館の玄関ポーチ補修、早口一、早口二、岩野目分館のタタミ表替えや、真中公民館駐車場の舗装工事を行ったほか、ポータブルワイヤレスアンプ、プロジェクター、AEDなど備品の更新により側面からの支援も行った。	
	課題等	地区公民館分館は15館あるが、老朽施設が多く、計画的な整備にしても長期にわたり、その間に突発的な修繕が多々発生する。また、建物以外にも、ストーブやエアコンの老朽化が進み、故障の都度修繕で対応しているが、計画的に更新する必要がある。	取組の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
	学識経験者等の意見	施設の修繕や改修にあたっては、予算の確保等容易でないと思うが、地区住民の生涯学習の拠点であるので、計画的に工夫しながら継続的に進めていってほしい。	
	⑥ 公民館事業の充実と参加促進		中央公民館
	活動内容	公民館の各種事業の内容を充実させ、魅力ある講座を開催する。さらに参加者の動向を見ながらレベルアップを図ることで、活発な公民館活動を展開する。また、既存の事業で参加者の少ない事業でも楽しみに来ている高齢者がいるため、存続できるようにしていきたい。	
	点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る (達成率100%超) <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり (95~100%) <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る (80~94%) <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (80%未満)	
各事業の実施後、参加者から事業内容に関する意見や要望などアンケートを取り、集約している。地区公民館では、町内会や関係団体との会合等で常に意見要望を出してもらい今後の事業に反映するように努めている。今年度の生涯学習フェスティバルでは、サエラ(デュエット歌手)のうたごえサロンやゆるりら健康体操、アーカイブコーナーの新企画を実施。地区公民館では、子ども映画観賞会やニューススポーツ体験会(長木)、3館対抗ポッチャ交流会(十二所)、郷土品整備事業(矢立)などの新規事業を実施した。			
課題等	事業内容がマンネリ化にならないように、NPO団体や県・市の出前講座、企業のCRS活動(社会貢献)の活用や他自治体の事例を参考にしながら、事業を充実させる。また、地区公民館では、各地区の歴史や風土などの学習素材を取り入れた特色ある事業の掘り起こしを進める必要がある。	取組の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度	
学識経験者等の意見	少子・高齢化や60歳以上の勤労者の増加といった社会の変化に対応し、地域住民のニーズを把握しながら既存事業の見直し・改善や新規事業を引き続き実施してほしい。		

重点施策点検・評価表

3-4-4

推進目標	
3	ふるさとの誇りと未来をはぐくむ生涯学習の推進と支援
重点施策	
4	「ふるさと学習」の機会を積極的に提供し、地域を誇れる素地を醸成する
	担当課(館)
	⑦ 放課後児童健全育成事業及び放課後子ども教室推進事業並びにわくわく土曜教室推進事業の実施
	生涯学習課
活動内容	放課後児童を対象として、「安全・安心」を第一に充実した放課後を過ごせる場を提供する。さらに、土曜日等の支援として体験活動や学習機会を提供する。 毎月1回の定例会を実施する。 各施設の横のつながりを図るため、クラブ対抗の大会(ドッジボール、カルタ)を開催する。
点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る (達成率100%超) <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり (95~100%) <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る (80~94%) <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (80%未満) 今年度も各児童クラブごとに特色ある事業を展開し、直営全体でのドッジボール大会やふるさとカルタ大会等が行われ、他校の児童との交流や支援員同士の交流が図られた。 また、支援員の情報交換やスキルアップを目的として毎月行われている定例会・研修会では、今年度初の試みとして、大館警察署より講師を招いて不審者対応を中心とした防犯対策についての研修を行った。研修後、児童クラブ各館において不審者の来館を想定した訓練が行われるようになり、防犯意識を高めることができた。
課題等	障害児等、支援を要する子どもについて、従事する支援員を適正配置できるように、協議しながら、事故・けがのないように努めていきたい。 また、引き続き支援員の確保、支援員の積極的な研修参加等の人材育成に努めていきたい。
	取組の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
学識経験者等の意見	費用負担は大きいですが、継続していただきたい。
	⑧ 「大館ふるさとカルタ」の普及とカルタ大会の開催
	生涯学習課
活動内容	カルタを普及させるとともに、カルタ大会を開催することにより、カルタの読み札や絵札を通して、ふるさとの歴史を学び、郷土愛を育む機会を作る。 初めての試みとして、カルタ大会の運営に高校生ボランティア(目標5人)を募り、審判の他読み手も育成する。
点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る (達成率100%超) <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり (95~100%) <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る (80~94%) <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (80%未満) 令和2年2月1日(土)中央公民館にて『第2回児童仲良しクラブ対抗カルタ大会』として大館ふるさとカルタを用いた大会を実施。市内直営9施設より小学1~3年生総勢73名が参加した。当日は保護者およそ30名が観覧に訪れたほか、大会の運営にあたり高校生ボランティア8名に運営補助を依頼した。 大会終了後においても、放課後児童クラブでは児童が大館ふるさとカルタで遊ぶ姿が見られ、普及の一助を担えたものと考えます。
課題等	放課後児童クラブ登録児童を対象としたカルタ大会を今後も継続して開催していくとともに、大館ふるさとカルタ普及に向けた新たな取組を見い出したい。
	取組の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
学識経験者等の意見	ふるさとカルタというのは、大変よい取り組みである。カルタを覚えることで、市内の名所などを覚えることにもなる。また、ボランティアで高校生が参加してくれるのはありがたいことだし、大人の参加よりも、子どもたちにとって一緒に遊ぶ機会となり喜ばしいことだと思うので、継続して頑張っていたいただきたい。

重点施策点検・評価表

3-5

推進目標		
3	ふるさとの誇りと未来をはぐくむ生涯学習の推進と支援	
重点施策		
5	「生涯読書」活動を推奨し、その推進と拡充に努める	担当課(館)
	① 図書館運営に関する進行管理	生涯学習課
	活動内容	指定管理制度による図書館運営について、指定管理者の提案書に基づく適正な運営に対する必要な支援と指導を行い、図書館サービスの向上を図り「生涯読書」活動を推進する。 令和元年度は、読書活動推進活動については、市補助金を利用した読書活動推進パートナー事業実施企業(キッズテラス アット セイジユ)を選定し読書活動の推進(多目的ホールに書架コーナーを設置し、閲覧及び貸出の実施)を行う。
	点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (達成率100%超) (95~100%) (80~94%) (80%未満) 大館市図書館協議会からの提言に沿いながら指定管理者との協議を行い、これまで図書館利用者へのサービス向上を図りながら「生涯読書」活動を推進している。読み聞かせ会の開催や図書館ボランティアの育成、夜の図書館開放など、多様なイベントを通じて来館者が親しみやすい図書館となることにより、利用者の増加を図っている。 また、防犯カメラ映像のモニター監視による館内セキュリティの確保や、入館者数カウンター(センサー)による来館者の把握など、館内環境維持に努めている。
	課題等	少子高齢、人口減少等の社会情勢の変化を踏まえながら、利用者サービスや各種事業の実施、情報発信を充実させ、さらに魅力ある市民に親しまれる図書館運営ができるよう、指定管理者と十分協議しながら支援していく。 取組の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
	学識経験者等の意見	継続して頑張ってください。
	活動内容	
	点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input type="checkbox"/> 目標どおり <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (達成率100%超) (95~100%) (80~94%) (80%未満)
	課題等	取組の方向性 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
	学識経験者等の意見	

重点施策点検・評価表

3-6-1

推進目標		
3	ふるさとの誇りと未来をはぐくむ生涯学習の推進と支援	
重点施策		
6	伝統・芸術・文化の継承と振興を支援する	担当課(館)
	① 芸術文化団体への支援	生涯学習課
	活動内容	大館市芸術文化連盟や比内芸術文化協会、田代地区芸術文化協会等、芸術文化団体に対し補助を行うことにより、地域の伝統文化や伝統芸能の活動を支援する。 市補助金：大館市芸術文化連盟 419千円 比内芸術文化協会 112千円 田代地区芸術文化協会 112千円
	点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (達成率100%超) (95~100%) (80~94%) (80%未満) 市の予算の範囲内での補助金交付を行っている。各団体とも補助金を有効に活用しながら、活動内容を工夫し運営に努めている。
	課題等	高齢化による会員の減少という共通の課題はあるが、各団体とも地域の伝統文化・芸能の保存・承継に積極的に取り組んでおり、今後も衰退しないように支援を継続していく。 取組の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
	学識経験者等の意見	大館市芸術文化連盟の表彰については対象範囲を広げたことで、各校からの推薦件数が多くなったようだが、スポーツ関係の表彰では大会規模による表彰の制約を設けている。今現在は予算内でできていると思うが、どんどん広がっていくと不足になる可能性があるため、芸術・文化でも表彰の制約を設けた方がよいのではないかと考える。その上で、継続して補助していただきたい。
	② 芸術文化に関する事業の積極的な周知・活用	生涯学習課
	活動内容	文化庁などが所管する各種事業等を関係団体や文化施設・学校等に積極的に周知、活用することにより、地域における芸術文化体験の機会を提供する。 市内小中学校25校全部に呼びかけを行い、巡回公演3校以上で実施を目指す。
	点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (達成率100%超) (95~100%) (80~94%) (80%未満) 市内芸術文化連盟・協会等に対する秋田県芸術文化振興基金やニッセイ財団等による助成事業の周知のほか、小中学校には子どもたちが質の高い芸術活動を身近に感じられる機会として文化庁「文化芸術による子どもの育成事業」巡回公演等の周知や取りまとめを行い、令和元年度には5校で実施。令和2年度は4校が申請している。さらに、2年連続での開催となった文化庁補助の令和元年度伝統文化親子教室事業(地域展開型)「大館市子どもまつり」は大変好評であった。
	課題等	「あきた子どもの文化体験促進事業」や「秋田県青少年劇場」など、学校等が活用しやすい事業について、民間・行政を問わず情報提供に努めていく。文化庁補助事業は、3年目として伝統文化親子教室事業(教室展開型)の申請団体と連携しながら実施予定。 取組の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
学識経験者等の意見	継続していただきたい。特に郷土芸能を残すにはお年寄りから若い人へ、そして子どもへ傳承することが必要だが、熱心な指導者がいないと難しい面がある。そのような人がいる地域で、学校の理解を得ながら、正課クラブに招くなどして傳承できるとよいのではないかと考える。それが学社連携のいいところでもある。生涯学習課としては、推奨して継続していける手立てを考えていただきたい。学校とよい関係が築けているとのことだが、子どもは学校以外の家庭、地域でも育てるものであることが少しずつ理解されるようになってきたのではないかと考える。	

重点施策点検・評価表

3-6-2

推進目標																							
3	ふるさとの誇りと未来をはぐくむ生涯学習の推進と支援																						
重点施策																							
6	<table border="1"> <tr> <td>伝統・芸術・文化の継承と振興を支援する</td> <td>担当課(館)</td> </tr> <tr> <td>③ 郷土芸能保存協会等との協働</td> <td>生涯学習課</td> </tr> <tr> <td> <table border="1"> <tr> <td>活動内容</td> <td>子どもから大人まで参加できる「大館市子どもまつり」を開催し、郷土芸能の発表と体験の場を構築する。また、教職員を対象とし郷土芸能体験の場を設ける。 午前の部「郷土芸能発表」 来場者目標300人 午後の部「郷土芸能と食文化体験・秋田杉ひろば・絵画展」 来場者目標200人 「教員のための郷土芸能体験」 参加者目標20人</td> </tr> <tr> <td>点検評価</td> <td> <input type="checkbox"/> 目標を上回る (達成率100%超) <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり (95~100%) <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る (80~94%) <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (80%未満) 昨年に引き続き文化庁より事業を受託し「11/3子どもまつり」と「1/10教員のための体験講座」を開催した。子どもまつり午前の部「郷土芸能発表」には、来場者239人出演者87人の参加があった。午後の部「郷土芸能と食文化体験」の4つのブースに参加者約50人、「秋田犬絵画展と秋田杉ひろば」には見学者約150人。普段は見られない伝統芸能が一堂に会する貴重な機会として好評を得た。子どもの参加割合が少なかったのが残念である。教員体験は19人が参加し地元大館ばやしの理解を深めた。 </td> </tr> <tr> <td>課題等</td> <td> 学校と連携し郷土芸能体験の親子ワークショップを学校で開催するなど、もっと小中学生の郷土芸能に対する関心と興味を喚起する方策を考えなければならない。 取組の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度 </td> </tr> <tr> <td>学識経験者等の意見</td> <td>子どもたちの参加が思ったほど伸びなかったのであれば、その手立てを考え直して、大成功になるように頑張っていたきたい。子どもが参加すると、親や祖父母の参加も見込むことができる。</td> </tr> </table> </td> </tr> <tr> <td> <table border="1"> <tr> <td>活動内容</td> <td></td> </tr> <tr> <td>点検評価</td> <td> <input type="checkbox"/> 目標を上回る (達成率100%超) <input type="checkbox"/> 目標どおり (95~100%) <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る (80~94%) <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (80%未満) </td> </tr> <tr> <td>課題等</td> <td> 取組の方向性 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度 </td> </tr> <tr> <td>学識経験者等の意見</td> <td></td> </tr> </table> </td> </tr> </table>	伝統・芸術・文化の継承と振興を支援する	担当課(館)	③ 郷土芸能保存協会等との協働	生涯学習課	<table border="1"> <tr> <td>活動内容</td> <td>子どもから大人まで参加できる「大館市子どもまつり」を開催し、郷土芸能の発表と体験の場を構築する。また、教職員を対象とし郷土芸能体験の場を設ける。 午前の部「郷土芸能発表」 来場者目標300人 午後の部「郷土芸能と食文化体験・秋田杉ひろば・絵画展」 来場者目標200人 「教員のための郷土芸能体験」 参加者目標20人</td> </tr> <tr> <td>点検評価</td> <td> <input type="checkbox"/> 目標を上回る (達成率100%超) <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり (95~100%) <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る (80~94%) <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (80%未満) 昨年に引き続き文化庁より事業を受託し「11/3子どもまつり」と「1/10教員のための体験講座」を開催した。子どもまつり午前の部「郷土芸能発表」には、来場者239人出演者87人の参加があった。午後の部「郷土芸能と食文化体験」の4つのブースに参加者約50人、「秋田犬絵画展と秋田杉ひろば」には見学者約150人。普段は見られない伝統芸能が一堂に会する貴重な機会として好評を得た。子どもの参加割合が少なかったのが残念である。教員体験は19人が参加し地元大館ばやしの理解を深めた。 </td> </tr> <tr> <td>課題等</td> <td> 学校と連携し郷土芸能体験の親子ワークショップを学校で開催するなど、もっと小中学生の郷土芸能に対する関心と興味を喚起する方策を考えなければならない。 取組の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度 </td> </tr> <tr> <td>学識経験者等の意見</td> <td>子どもたちの参加が思ったほど伸びなかったのであれば、その手立てを考え直して、大成功になるように頑張っていたきたい。子どもが参加すると、親や祖父母の参加も見込むことができる。</td> </tr> </table>	活動内容	子どもから大人まで参加できる「大館市子どもまつり」を開催し、郷土芸能の発表と体験の場を構築する。また、教職員を対象とし郷土芸能体験の場を設ける。 午前の部「郷土芸能発表」 来場者目標300人 午後の部「郷土芸能と食文化体験・秋田杉ひろば・絵画展」 来場者目標200人 「教員のための郷土芸能体験」 参加者目標20人	点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る (達成率100%超) <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり (95~100%) <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る (80~94%) <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (80%未満) 昨年に引き続き文化庁より事業を受託し「11/3子どもまつり」と「1/10教員のための体験講座」を開催した。子どもまつり午前の部「郷土芸能発表」には、来場者239人出演者87人の参加があった。午後の部「郷土芸能と食文化体験」の4つのブースに参加者約50人、「秋田犬絵画展と秋田杉ひろば」には見学者約150人。普段は見られない伝統芸能が一堂に会する貴重な機会として好評を得た。子どもの参加割合が少なかったのが残念である。教員体験は19人が参加し地元大館ばやしの理解を深めた。	課題等	学校と連携し郷土芸能体験の親子ワークショップを学校で開催するなど、もっと小中学生の郷土芸能に対する関心と興味を喚起する方策を考えなければならない。 取組の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度	学識経験者等の意見	子どもたちの参加が思ったほど伸びなかったのであれば、その手立てを考え直して、大成功になるように頑張っていたきたい。子どもが参加すると、親や祖父母の参加も見込むことができる。	<table border="1"> <tr> <td>活動内容</td> <td></td> </tr> <tr> <td>点検評価</td> <td> <input type="checkbox"/> 目標を上回る (達成率100%超) <input type="checkbox"/> 目標どおり (95~100%) <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る (80~94%) <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (80%未満) </td> </tr> <tr> <td>課題等</td> <td> 取組の方向性 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度 </td> </tr> <tr> <td>学識経験者等の意見</td> <td></td> </tr> </table>	活動内容		点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る (達成率100%超) <input type="checkbox"/> 目標どおり (95~100%) <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る (80~94%) <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (80%未満)	課題等	取組の方向性 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度	学識経験者等の意見	
伝統・芸術・文化の継承と振興を支援する	担当課(館)																						
③ 郷土芸能保存協会等との協働	生涯学習課																						
<table border="1"> <tr> <td>活動内容</td> <td>子どもから大人まで参加できる「大館市子どもまつり」を開催し、郷土芸能の発表と体験の場を構築する。また、教職員を対象とし郷土芸能体験の場を設ける。 午前の部「郷土芸能発表」 来場者目標300人 午後の部「郷土芸能と食文化体験・秋田杉ひろば・絵画展」 来場者目標200人 「教員のための郷土芸能体験」 参加者目標20人</td> </tr> <tr> <td>点検評価</td> <td> <input type="checkbox"/> 目標を上回る (達成率100%超) <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり (95~100%) <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る (80~94%) <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (80%未満) 昨年に引き続き文化庁より事業を受託し「11/3子どもまつり」と「1/10教員のための体験講座」を開催した。子どもまつり午前の部「郷土芸能発表」には、来場者239人出演者87人の参加があった。午後の部「郷土芸能と食文化体験」の4つのブースに参加者約50人、「秋田犬絵画展と秋田杉ひろば」には見学者約150人。普段は見られない伝統芸能が一堂に会する貴重な機会として好評を得た。子どもの参加割合が少なかったのが残念である。教員体験は19人が参加し地元大館ばやしの理解を深めた。 </td> </tr> <tr> <td>課題等</td> <td> 学校と連携し郷土芸能体験の親子ワークショップを学校で開催するなど、もっと小中学生の郷土芸能に対する関心と興味を喚起する方策を考えなければならない。 取組の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度 </td> </tr> <tr> <td>学識経験者等の意見</td> <td>子どもたちの参加が思ったほど伸びなかったのであれば、その手立てを考え直して、大成功になるように頑張っていたきたい。子どもが参加すると、親や祖父母の参加も見込むことができる。</td> </tr> </table>	活動内容	子どもから大人まで参加できる「大館市子どもまつり」を開催し、郷土芸能の発表と体験の場を構築する。また、教職員を対象とし郷土芸能体験の場を設ける。 午前の部「郷土芸能発表」 来場者目標300人 午後の部「郷土芸能と食文化体験・秋田杉ひろば・絵画展」 来場者目標200人 「教員のための郷土芸能体験」 参加者目標20人	点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る (達成率100%超) <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり (95~100%) <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る (80~94%) <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (80%未満) 昨年に引き続き文化庁より事業を受託し「11/3子どもまつり」と「1/10教員のための体験講座」を開催した。子どもまつり午前の部「郷土芸能発表」には、来場者239人出演者87人の参加があった。午後の部「郷土芸能と食文化体験」の4つのブースに参加者約50人、「秋田犬絵画展と秋田杉ひろば」には見学者約150人。普段は見られない伝統芸能が一堂に会する貴重な機会として好評を得た。子どもの参加割合が少なかったのが残念である。教員体験は19人が参加し地元大館ばやしの理解を深めた。	課題等	学校と連携し郷土芸能体験の親子ワークショップを学校で開催するなど、もっと小中学生の郷土芸能に対する関心と興味を喚起する方策を考えなければならない。 取組の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度	学識経験者等の意見	子どもたちの参加が思ったほど伸びなかったのであれば、その手立てを考え直して、大成功になるように頑張っていたきたい。子どもが参加すると、親や祖父母の参加も見込むことができる。															
活動内容	子どもから大人まで参加できる「大館市子どもまつり」を開催し、郷土芸能の発表と体験の場を構築する。また、教職員を対象とし郷土芸能体験の場を設ける。 午前の部「郷土芸能発表」 来場者目標300人 午後の部「郷土芸能と食文化体験・秋田杉ひろば・絵画展」 来場者目標200人 「教員のための郷土芸能体験」 参加者目標20人																						
点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る (達成率100%超) <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり (95~100%) <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る (80~94%) <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (80%未満) 昨年に引き続き文化庁より事業を受託し「11/3子どもまつり」と「1/10教員のための体験講座」を開催した。子どもまつり午前の部「郷土芸能発表」には、来場者239人出演者87人の参加があった。午後の部「郷土芸能と食文化体験」の4つのブースに参加者約50人、「秋田犬絵画展と秋田杉ひろば」には見学者約150人。普段は見られない伝統芸能が一堂に会する貴重な機会として好評を得た。子どもの参加割合が少なかったのが残念である。教員体験は19人が参加し地元大館ばやしの理解を深めた。																						
課題等	学校と連携し郷土芸能体験の親子ワークショップを学校で開催するなど、もっと小中学生の郷土芸能に対する関心と興味を喚起する方策を考えなければならない。 取組の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度																						
学識経験者等の意見	子どもたちの参加が思ったほど伸びなかったのであれば、その手立てを考え直して、大成功になるように頑張っていたきたい。子どもが参加すると、親や祖父母の参加も見込むことができる。																						
<table border="1"> <tr> <td>活動内容</td> <td></td> </tr> <tr> <td>点検評価</td> <td> <input type="checkbox"/> 目標を上回る (達成率100%超) <input type="checkbox"/> 目標どおり (95~100%) <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る (80~94%) <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (80%未満) </td> </tr> <tr> <td>課題等</td> <td> 取組の方向性 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度 </td> </tr> <tr> <td>学識経験者等の意見</td> <td></td> </tr> </table>	活動内容		点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る (達成率100%超) <input type="checkbox"/> 目標どおり (95~100%) <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る (80~94%) <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (80%未満)	課題等	取組の方向性 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度	学識経験者等の意見																
活動内容																							
点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る (達成率100%超) <input type="checkbox"/> 目標どおり (95~100%) <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る (80~94%) <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (80%未満)																						
課題等	取組の方向性 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度																						
学識経験者等の意見																							